

新規登録地「みなかみ」の概要について

1. 名称：

みなかみ生物圏保存地域（みなかみユネスコエコパーク）

2. 構成自治体：

【群馬県】みなかみ町

【新潟県】^{うおぬまし}魚沼市、^{みなみうおぬまし}南魚沼市、^{ゆざわまち}湯沢町

3. 特徴等：

○特徴

群馬県の最北端に位置するみなかみ町全域を中心に隣接する新潟県（魚沼市、南魚沼市、湯沢町）の一部で構成されており、日本を代表する大河川である利根川の最上流域に位置し、人口・経済において世界最大規模である東京都市圏の約8割、3,000万人の生命とくらしを支える水の最初の一滴を生み出している。

群馬県と新潟県の境界の山稜一帯は、太平洋側と日本海側の大気がぶつかる日本の脊梁山脈、すなわち中央分水嶺となっており、世界でも有数の豪雪地帯となっている。山岳地域では、冬期の大量の積雪の影響などにより、急峻な岩壁や露岩地に加え、雪食凹地、氾濫原、河岸段丘など特徴的な地形や、周氷河地形などの豪雪地特有の地形を形成している。また、標高2,000mに満たない地域にもかかわらず氷河の痕跡も確認されている。これらの特殊な地形・地質や、日本海側と太平洋側の気候条件の移行帯であることなどに起因し、多様で希少な動植物が育まれ、独特の生態系が見られるなどの特徴を有している。

○面積

総面積	91,368ha
・核心地域	9,123ha
・緩衝地域	60,421ha
・移行地域	21,824ha

※ 核心地域と緩衝地域は、上信越高原国立公園や利根川源流部自然環境保全地域、利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域や緑の回廊三国線等に指定されており、適切な保護・保全が図られている。

※ 移行地域には、自然と人の暮らしの中から生まれた、里地・里山の農村景観が広がり、歴史や伝統、農村文化が今なお息づいている。また、豊富に湧出する温泉や雄大な自然を資源とした観光産業が営まれており、人と自然が共生していくため、豊かな自然を「まもり、いかし、ひろめる」取組が進められている。